

授業科目 人間援助と理解

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
柴山悦子	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>
 身体的・精神的障害を持つことによって出現する生活上の種々の問題は、本人と家族、あるいは関係者との人間関係にも多くの問題をもたらす。そしてこれらの問題は、多くの場合専門的援助なくしては解決(軽減)は難しい。このことは医療・福祉に携わる者として共通に理解しておく必要があるが、本授業はその手掛かりの一助とするものである。

<学習目標>
 1, 家族の人間関係を学ぶ
 2, 高齢者のサポートシステムを学ぶ
 3, 上記のことをとおして人間理解の手掛かりとし、同時に援助方法の初歩を学ぶ
 4, 学生同士の体験を知ったり考え方をすることで、自身の考えを深める

回数	授業計画又は学習の主題	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	①オリエンテーション②小説『黄落』の概要を聞く③アンケート(介護体験)に答える	講義
2	①アンケート集計結果報告を聞く②結果についての考察する③考察を踏まえての感想を書く	講義
3	①「在宅」生活への社会的支援について理解する②アンケート(在宅・施設への関心度)に答える	講義
4	アンケート集計結果の報告を聞く②望ましい介護施設について考察し、アンケートに答える	講義
5	アンケート集計結果の報告を聞く②事例について学び考察する③アンケートに答える	講義
6	アンケート集計結果の報告を聞く②地域での支援方法についてビデオで学ぶ③感想を書く	講義
7	①『黄楽』第一章の概略を理解する②主人公(夫)と妻のそれぞれに共感するところを書き出す	講義
8	①「共感する」ことの必要性について理解する②「共感するところの」感想の集計を聞く	講義
9	①『黄楽』第一章における医療機関の選択と、利用者の自己決定について学ぶ	講義
10	『黄楽』第二章における福祉職の対応と、利用者を支持するとはどういうことかについて学ぶ	講義
11	①『黄楽』以外の事例を読み考察する②考察の内容を書く	講義
12	①高齢者の介護施設について学ぶ②『黄楽』第三章を読み、父・母に共感できるところを書き出す	講義
13	①「共感したところ」の集計の結果を聞く②まとめ	講義
14	試験	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	『黄落』	佐江衆一	新潮社	580円
参考書				
その他の資料	適宜配布する			

【評価方法】	【履修上の留意点】
①出席状況とアンケートへの記載内容を重視する ②試験	教科書が手元に届く時期により、講義内容・順番が異なる